



アサビィ

毎日50万人の食生活を支える 物流インフラ企業


アサヒロジスティクス株式会社

最新情報をお届けします！



ももビィ

2021年11月29日

～女性・未経験者の活躍の場を広げるために～

女性専用車両「クローバー」第4段！11月に2台を導入 少ない力で操作できる装備を追加、より使いやすくなりました

1,400台のトラックと2,300人超のドライバーで毎日50万人の食生活を支える物流インフラ企業、アサヒロジスティクス株式会社（埼玉県さいたま市大宮区/代表取締役社長 横塚元樹）は、女性の物流業界へのチャレンジを応援し、積極的に採用する取り組みを進めております。

この取り組みの一環として導入を推進している女性専用車両「クローバー」の第4段として、11月5日（金）に狭山チルド物流センター（埼玉県狭山市）に、11月12日（金）に花見台共配センター（埼玉県比企郡嵐山町）に各1台を導入いたしました。当社では、女性や未経験のサービスドライバーにとってより働きやすい環境を提供することを目的とした「クローバープロジェクト」展開しております。ドライバーの作業時の負荷を軽減することを狙いとし、徐々に進化している女性専用車両「クローバー」は、今回で計9台の導入となりました。今後も、女性サービスドライバーの生の声を活かし、女性がより活躍できる環境づくりに取り組んでまいります。



今回導入された女性専用車両「クローバー」2台

【当社の女性専用車両「クローバー」の特徴】

- ① トラックの名称であるクローバーを取り入れたデザイン
- ② 運転席内をすべて覆うカーテンなど、女性の「快適」を考えた装備
- ③ 女性の身長にあわせて、ラッシングベルト※の収納フックを通常より低い高さに設置

車両メーカー様からも「こんな装備はありますか？」と、ドライバーの負荷を軽減し、快適に乗車できる装備のご提案をいただけるようになりました。今後のさらなる進化にご期待ください！

※ラッシングベルト

トラック庫内の荷物を、動かないように固定するためのベルト
使用しない際は、トラック庫内壁面のフックに掛けて収納する

【女性専用車両導入の経緯】

当社では、女性ドライバーの活躍の場を広げ、気持ち良く働いていただける環境づくりを目指し2019年12月より「クローバープロジェクト」と名付けて活動を展開しており、女性専用車両の導入はこのプロジェクト活動の1つです。「多くの女性にドライバーという職業に関心を持っていただくためには、まずは実際に働いている女性ドライバーが気持ちよく働ける環境でなければ！」そんな思いから、ドライバーが就業時間のほとんどを過ごすトラックを「より快適に」「より使いやすく」することを目指し、女性ドライバーの意見を取り入れ、2020年3月に当社で初めての女性専用トラックが誕生しました。その後、導入拠点の業務にあわせた車格・装備を考慮しながら、展開を続けております。





第4段(2021年11月納車)女性専用車両「クローバー」詳細 ※装備は車種により異なります

導入拠点	所在地	車格・仕様		台数
狭山チルド物流センター	埼玉県狭山市根岸671-1	4トン・冷凍冷蔵車	(いすゞフォワード)	1台
花見台共配センター	埼玉県比企郡嵐山町花見台7-1	2.95トン・冷凍冷蔵車	(日野デュトロ)	1台



収納スペースの増設

伝票等の書類や小物の収納スペースを増設。運転席から手が届く位置に設置することも重要です。※形態は車種により異なります



運転席全面をカバーできるカーテン

着替えや休憩時のストレスを軽減します。4トン以上の車格は、助手席側足元の安全窓もカバー可能です。



見やすさを考慮したサンバイザー

座席を前に出した際に視界を遮らないものが欲しい！という声に応えました。

オリジナルデザインを採用

女性専用車両の名称になっているクローバーを取り入れたオリジナルデザイン。環境や人への優しさ、親しみやすさを表現しています。



未経験者も運転しやすいオートマチック車



ワンタッチロック式ドア

レバーを引くだけ、押すだけの簡単操作で観音扉の開閉の際の負担を軽減します。

※2.95トン車のみ試験的に導入



ラッシングベルトを通常より低い位置に配置

身長が低い女性でも扱いやすいよう配慮しました。



楽々サイドブレーキ

(正式名称:ホイールパーク式ブレーキ)

当社では6トン車以上に装備していた装備を今回はじめて4トン車に導入。少ない力で安全にサイドブレーキを引くことが可能です。